

# しぜん のこ 自然をかたまりで残してつなごう

## しぜん ほんし 自然のかけ橋

自然がとぎれては、生きものが行き来できない。そこで、木々や川など、生きものが安心して安全に移動できる自然をつなぐことが必要だ。

## おほい しぜん 大きい自然

森林など面積が広く、多くの種類の生きものがたくさんくらしている、豊かで安定した自然。クマやワシなど広い面積を必要とする生きものはここでしかくれない。

## ちい しぜん 小さい自然

もともと日本にあった植物が生えている小さな場所で、家の庭や生け垣、屋上、学校など。昆虫が暮らし、それを食べる小鳥などがやってくる。

## ちゆう しぜん 中くらいの自然

大きな自然ほど広くはない雑木林や、都市公園などにある自然。大きな動物がくらすほど広くはないが、昆虫や小鳥などの小動物が、くらすしている。



しぜん  
自然をつなぐことは  
いろいろな動物たちが  
行ったり来たり  
できるようにするために  
大切なのよね。

それもそうじゃが、  
それだけではないぞ。

たとえば、  
森の栄養分は  
川で運ばれ海のプランクトンのエサと  
なる。すると海で、それを食べる小魚や  
小魚を食べる魚がふえる。

つまり、いろいろな  
生きものがたくさんくらす豊かな  
海を守るには、水や栄養分がきちんと  
流れる川で、森と海がつながっている  
ことがたいせつなんじゃ。

